

高い志と、広い視野で

「夢が持てるまちづくりを」町制10周年、次の10年へ向けて

福智町長

嶋野 勝

福智町が誕生して10年が経ちました。私は平成

26年より町長となり、この2年間、まち全体を隅々まで見てきましたが、改めてこのまちの持つ魅力、ボ

テンシャルの高さを実感しています。少子高齢化、人口減少、貧困・日本全体を覆う課題がここ福智町にも同様にあり、依然厳しい状況にはあります。だからこそ、やること、やれることがたくさんある。私は福智町のまちづくりにそんな大きなロマンを抱いています。



地方創生の一環として平成27年10月に開設した「福智町しごと相談窓口」。雇用創出への大きな足がかりに

町長就任以来、何事にも全力で取り組み、1年目に時

いた種が大きく育つてきていることを感じます。例えば地方創生の一環として平成27年10月に開設した「福智町しごと相談窓口」。就職を希望する、本人から、家族まで、12月までの3か月間で250もの相談があり、実際に雇用につながった方からも喜びの声を多くいただい

ています。また、平成28年度に開館予定の図書館・歴史資料館。まちづくりの拠点として日本一の施設を目指しています。さらに町有地の売却も進んでいますし、リニューアルしたふるさと納税は、初年度に昨年度比約

500倍の11億円を突破しました。そのうえで、今後最優先で取り組むべきは財政の健全化です。特に公共施設は必要なもの、そうでないものを見極め、統廃合していくことが急務です。そうしてやるべきことにはしっかりとお金かける。メリハリの効いた町政を目指します。

私の役割は「10年先、20年先の福智町を見据えてしっかりとレールを敷くこと」。まちを覆う課題に対し、前向きにチャレンジを続ける「夢の持てるまち」を目指して、

3つの柱を軸に町政を進めていきます。

一つ目の柱は「教育」です。福智町の子どもたちには、学力を競うだけではなく、どんな状況にあっても自立して強く生きられる力を身につけてほしい。そのためには多くの体験と教育現場における優秀な人材の確保が必要です。教育予算をしっかりと確保しながら、まちとして子どもたちの未来をサポートしていきたいと思います。

次に少子高齢化への対策です。町では65歳以上が31%を超えました。私もここで老いてゆく者の一人として、いくつになつても夢や生きがいが持てる福智町であって欲しいと願っています。認知症施策や自立支援センターの設立など、福祉・医療・介護をしっかりと



九州では2番目、県内初の取り組みとなる太陽光発電システム「水上フロートソーラー」(弁城朝倉池)

FUKUCHI OFFICIAL



平成18年3月、赤池町・金田町・方城町がひとつになり、3町の共通のシンボルである「福智山」への愛着から、新しい町「福智町」が誕生しました。福智町は、福岡県の東北部に位置し、北は北九州市、直方市、東は香春町、南は田川市、糸田町、西は飯塚市に接しています。総面積は42.04平方キロメートルで、福岡県の0.8%を占めています。福岡・北九州市の両政令指定都市の中心からそれぞれ約45キロメートル、約35キロメートルの距離にあります。また、周辺を丘陵地、山地に囲まれた盆地で、中央部を彦山川、中元寺川が貫流しており、緑豊かな自然環境に恵まれています。

■ 福智町の人口（平成28年1月31日現在）

23,800人

男性 11,283人 女性 12,517人

ACCESS

■ 飛行機をご利用の方

北九州空港→朽木駅→行橋駅→田川伊田駅→金田駅（所要時間 約2時間）

福岡空港→福岡空港駅→博多駅→直方駅→金田駅（所要時間 約2時間）

■ 列車をご利用の方

JR小倉駅→折尾駅→直方駅→金田駅（所要時間 約1時間10分）

JR博多駅→直方駅→金田駅（所要時間 約1時間40分）

■ 車をご利用の方

九州自動車道八幡IC→福智町（所要時間 約30分）

九州自動車道金剛IC→福智町（所要時間 約30分）



連携させ、充実したセカンドライフを謳歌できるまちづくりに取り組んでいきたいと思います。また子育て支援に関しては、医療費は中学3年生までの無料化を実現し、子育て支援も進めています。定住人口の増加は雇用と教育、福祉、介護の充実があつてこそ。これからも町民の福利・福祉や人づくりにより一層力を入れていきたいと考えています。

もう一つ大切な柱が、環境への取り組みです。豊かな自然を守るために福智町では特に太陽光発電に力を入れており、公共施設の屋根を利用し水上で太陽光発電ができる「フロートソーラー」を導入。九州では2番目、福岡県内では初の試みとして注目されています。加えてごみの減量化とリサイクルにも取り組み、

豊かな恵みを次代へと引き継いでいきたいと思います。福智町が誕生して10年。いよいよ、次の10年への挑戦が始まります。目指すは「夢が持てるまち」。そのためには町民のみなさんや民間企業の知恵や力も借りなければなりませんし、ときには厳しい選択を迫る場面もあるかもしれません。しかし町民一丸となつてそれを乗り越えることができたとき、福智町は全国に誇れる「活力あるまち」として飛躍することでしょう。志はあくまで高く、まちの未来まで見据える広い視野を持つて。福智町の無限の可能性を信じ、みなさんとともに楽しく夢を持ってまちづくりに取り組んでいきたいと切に願っております。